

三二企画展 青木幸夫氏 切り絵シリーズ ⑬  
 「心動かされた御仏、風景、そして…」  
 6月30日(金)まで開催中

1階スロープ展示スペースでは、「心動かされた御仏、風景、そして…」と題して、青木幸夫氏の切り絵、近作6点を6月30日(金)まで展示しています。今回で19回目となります。

御仏・風景・草花を主なテーマに、作者の目、心に深く留まったものを作品にされています。ご来館の折に、どうぞご覧ください。



▲展示の様子

4月30日(日) 「切り絵ワークショップ」 報告  
 講師 藤田正俊氏

講師の藤田先生に、切り絵の仕組みをご説明いただいたあと、16パターンの中から作りたい図柄と下地になる折り紙を選び、コツを教えていただきながら切り進めました。切った後は思い思いに下地に合わせる折り紙を合わせました。同じ図柄でも色の組み合わせによって全然違う雰囲気の作品が仕上がり、参加者全員が和気あいあいと配色の相談をしながら楽しみました。



▲ワークショップの様子

切り絵の魅力と奥深さに触れる機会となりました。

【お知らせ】

◆展示室閉室について

6月15日(木)、6月19日(月)～23日(金)は、展示替えのため、展示室は閉室させていただきます。

◆『外壁改修及び屋上防水改修工事』について

この工事は、当初の予定より少し延びて、9月22日(金)終了の見込みです。この間、平日の午前・午後は工事のため館内の駐車場が使用できず、駐輪場が狭くなっており、工事の影響で音や匂いが気になることも予想されます。最も大きな音が出る9月1日(金)～12日(火)の平日の午前・午後の時間帯は影響が大きいので貸館を停止します。

ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解、ご協力の程よろしくお願いいたします。

**川崎市大山街道ふるさと館** <利用案内>

電話：044(813)4705 FAX：044(712)0034  
 〒213-0001 川崎市高津区溝口3-13-3

開館時間 ・9:30～21:30 (展示室10:00～17:00)  
 休館日 ・年末年始(2023年12月28日～1月4日)  
 施設点検日 ・毎月の最終金曜日 (17時閉館)  
 ただし、2023年12月は第4金曜日、  
 2024年2月は第3金曜日になります。

※駐車は、貸館の利用団体者用として、各団体1台とさせていただきます。

※ふるさと館では、イベントホール(定員64名)、  
 第1会議室(12名)、第2会議室(30名)、和室(10名)  
 が利用できます。「ふれあいネット」からお申込みください。

ふるさと館HP

一ふるさと館案内図一

高津 府中街道 高津駅  
 東急田園都市線  
 丸井  
 ノクレー  
 クンタッキー  
 溝ノ口駅  
 溝ノ口入口  
 武蔵溝ノ口  
 JR南武線  
 大山街道  
 溝ノ口

JR南武線 武蔵溝ノ口駅 下車 徒歩7分  
 東急田園都市線 高津駅 下車 徒歩5分

大山街道  
**ふるさと館だより** No. 72  
 2023. 5. 30

〒213-0001 川崎市高津区溝口3-13-3 Tel: 044-813-4705 Fax: 044-712-0034 http://furusatokan.web5.jp/

令和5年度 第1回企画展  
**「藤田正俊切り絵展～かわさき私景～」**  
 6月14日(水)まで開催中

会場：大山街道ふるさと館 展示室 入場無料 開場時間：10時～17時

藤田正俊氏は川崎の身近な場所を題材に、魅力的な作品を各地で発表されてきた市内在住の切り絵作家です。

同氏の作品は建物の外部と内部を織り交ぜたり、印象的な題材を誇張して見せたりなど大胆な構図で描く作風が特徴となっています。

今回の作品展では、高津区各地を描いた作品を中心に原画29点と複製12点を展示しています。作品の中には、同氏により詠まれた俳句が、キャプションには制作当時の感想が添えられ、より深い切り絵の世界が感じられます。

川崎の魅力を知ってもらいたいという作者の思いが伝わってくる作品の数々をご鑑賞ください。



▲溝口神社

令和5年度 第2回企画展  
**ふれあいクラブ高津「第29回 趣味の作品展」**  
 6月16日(金)～18日(日) 開催

会場：大山街道ふるさと館 展示室 入場無料 開場時間：10時～17時

高津区老人クラブ連合会(ふれあいクラブ高津)の会員の皆様による、趣味の教室や個人で丹精込めて制作した絵画、陶芸、書道、手芸など約170点の作品を展示いたします。

会員の方々のすばらしい作品の数々をご覧ください。



▲昨年度の展示の様子

## <企画展> 開催のお知らせ 「昔のくらしと道具たち 一衣・食・住の移り変わり」

主催：川崎市市民ミュージアム 共催：川崎市大山街道ふるさと館  
令和5年6月24日(土)～9月3日(日)

開場時間：10時～17時 観覧無料

衣・食・住は人間が生活をしていく基本となるものです。そして、衣食住を含む「くらし」の様子は、時代とともに変化していきます。特に昭和期は、不景気や戦争など多くの困難を乗り越え次第に世の中が豊かになっていく時代です。電化製品が登場し広く家庭で使われることで、手作業で行われていた家事も時間がかからなくなりました。

本展では、衣類・食物・住居の三つのテーマに着目し、昭和期を中心にその前後の時代と比較しながら、当時使用されていた生活道具を紹介します。



▲灯油ランプ  
(当館所蔵)



▲カラーテレビ(アナログ)  
(1992年製造、当館所蔵)

### 企画展関連の講座のご案内

事前申込が必要です

#### 夏休みふるさと発見講座「昔の道具を使ってみよう！」参加費：無料

昔のくらしで使われていた道具について紹介します。また、参加者が実際に洗たく板などの昔の道具に触って体験できる時間を設けます。講座を通して昔の人の知恵や工夫について考えてみましょう。昔はどんな道具を使って生活して、くらしがどう変わったのかを紹介します。イベントホールでの講座の後は展示室の資料について学芸員が解説します。

日時：令和5年8月5日(土)10:00～12:00

対象：小学3年生以上～大人(保護者の方も参加できます) 定員：25名(応募者多数の場合は抽選)

講師：林 花音氏(川崎市市民ミュージアム学芸員)

申込期間：6月10日(土)～7月13日(木)16時

場所：川崎市大山街道ふるさと館 2階イベントホール 主催：川崎市大山街道ふるさと館

【申し込み方法】※応募者多数の場合は抽選を行い、締切日6日後までに結果をご連絡いたします。

#### ■メールフォームの場合

- ふるさと館ホームページの講座申込み用メールフォームからお申込みください。
- 夏休みふるさと発見講座参加者募集のお知らせページにある申し込み用メールフォームからご希望のイベントを選び、参加される方のお名前、ふりがな、学年(小学生の場合)、電話番号、メールアドレスを入力してください。同伴者1名まで合わせてお申し込みできます。



ふるさと館 HP

#### ■往復はがきの場合

- 往復はがき往信(裏面)に、「夏休みふるさと発見講座申込み」と明記し、参加者のお名前、ふりがな、学年(小学生の場合)、電話番号を記入。同伴者1名まで合わせてお申し込みできます。
- 返信(表面)に、送付先の住所、氏名を明記して、下記住所宛てに郵送してください。

◇送付先：〒213-0001 川崎市高津区溝口3-13-3 川崎市大山街道ふるさと館

◇締切日：7月13日(木)必着

### ふるさと館開館30周年記念

高津区制50周年記念 3月5日(日)

## 春のふるさと館まつり 開催報告

今回の春のふるさと館まつりは、「まちの企画室事業」と連携し、益子焼陶芸づくりワークショップ、濱田友緒氏特別講演会、益子焼出張陶器市、濱田庄司パネル展、光る泥だんごコンテスト、アート de ミュージカル、などが行われ、盛りだくさんの企画で盛況でした。

また、地元の演奏家 笛吹かなさんらによるミニコンサート、パン屋、お菓子屋などの青空マーケット、館内クイズラリーも行われ、多くの来場者の皆様に、ふるさと館で春の一日をお楽しみいただきました。



▲濱田友緒氏特別講演会



▲光る泥だんごコンテスト



▲アート de ミュージカル



▲ミニコンサート

### 3月3日(金)～9日(木) 第5回企画展「地域が創出するカルチャー展」報告

ふるさと館で活動されている、<絵たより菂の会><フラワーサークルリリー><なかよしクラブ><高津パステル><絵画サークル麦の会><高津短歌会><天為溝の口俳句会>の7団体による作品展として開催し、絵たより、フラワーアレンジメント、書道、絵画、短歌、俳句といった数々の見事な作品が披露され、注目を集めました。



▲昨年度カルチャー展の様子

### 令和5年度 春季大山街道学習講座 第1回・第2回 報告 講師：對馬醇一氏(郷土史研究家)

#### 第1回 4月22日(土) 鷺沼駅～江田駅(約5km)

好天に恵まれ、暖かい春の陽気の中、鷺沼駅をスタートしました。

阿弥陀堂、馬頭観音碑などを見学し、うとう坂、血流れ坂を通り、不動の滝と老馬鍛冶山不動堂、荏田下宿庚申塔を見学。天保2(1831)年に渡辺華山が宿泊した、当時にぎわっていたという荏田宿跡を通り、鎌倉時代に作られたと伝えられる荏田城址を遠望して、江田駅へと歩きました。荏田宿周辺の豊かな歴史を感じる講座でした。



▲荏田下宿庚申塔

#### 第2回 5月13日(土) 江田駅～青葉台駅(約5km)

小雨予報で天気が心配される中、江田駅をスタートしました。

歩き始めて間もなく雨となり、本降りに。最初に訪れた市ヶ尾竹下地藏堂で雨宿りをしていると皆さんの願いが通じたのか、間もなく雨は止んで救われました。ここから大難(おうな)の辻にかけては街道の雰囲気を感じられました。途中、昔の面影を残す旅籠綿屋を通り、医薬神社を経て、藤が丘地区センターで休憩し、青葉台駅へと歩きました。



▲旅籠綿屋